

弊社セミナーの講師が選ぶ!! ピエゾサージェリー®インサートチップ

～講師が臨床で使用するインサートチップ～

弊社主催のセミナーで、各講師に取り上げられたピエゾサージェリーのインサートチップをご紹介します。各講師が日常臨床で使用しているインサートチップとなりますので、ピエゾサージェリーの有効活用となるべく、先生方の臨床のご参考となりましたら幸いです。

QRコードからピエゾサージェリー・インサートチップの詳細、症例動画をご覧いただけます。



2024年3月開催

「ソーセージテクニック」ハンズオンコース (臼歯部編)

最先端の水平的骨増大術 実習セミナー

講師: 多保学先生 / 松田博之先生



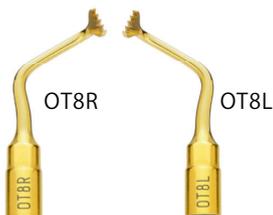
多保学先生



松田博之先生



OT7



OT8R

OT8L

OT7 ソーセージテクニックなどのGBRで使用する自家骨を、下顎レイマスから採取する際に有効です。

OT8R / OT8L OT7より角度がついているため、OT7ではアクセスしにくい臼歯部の骨切りに使用します。骨切りした後、チゼル等でブロック骨を分離します。



椎貝達夫先生

2023年7月開催

抜歯窩を有効利用した低侵襲審美的なインプラント埋入術

～T'sボーンプレッディング、ピエゾサージェリー®を応用した上顎インプラント埋入術～

講師: 椎貝達夫先生

IM1-SP T'sボーンプレッディングを使用するケースに限らず、特に狭小骨部へのインプラントの埋入時に、起始点形成～穿孔スタート時の方向づけに役立ちます。深度目盛りが付与されているので、形成中に深度が確認できます。臼歯抜歯窩中隔骨をT'sボーンプレッディングで拡大する際の起始点形成にも使用します。

OT7 狭小骨をリッジエクспанションで拡大する際、骨梁の骨切りに使用します。様々なケースでの骨切りに使用できる汎用性の高い代表的なインサートチップです。



IM1-SP

OT7



雨宮啓先生

2023年1月・11月開催

Mectron PIEZOSURGERY® を使用した実践的サイナスフロアエレベーション

～側方アプローチと歯槽頂アプローチを臨床に取り入れる～

講師: 雨宮啓先生

OT7 サイナスリフトのラテラルアプローチでの開窓に使用します。術中は4mmのインサートチップ先端幅を目安にして、必要な大きさまで開窓しています。ピエゾサージェリーに不慣れなうちは、サイナスメンブレンに対してより安全なダイヤモンドコーティングタイプのOT5、OT1での開窓をお勧めします。

OT5 サイナスリフトのクレスタルアプローチにおいて、サイナスメンブレン近傍までドリリングした後、上顎洞との開通のため、残っている骨を削除するのに使用します。

OT1 サイナスリフトのクレスタルアプローチにおいて、上顎洞の形状によってはサイナスメンブレンの剥離範囲が制限されることがあります。インプラントを2本埋入する場合は、サイナスメンブレン剥離用のK2インスツルメントの可動範囲を確保するため、2つのインプラント形成窩をOT1を使用して繋げることがあります。



OT7

OT5

OT1



白鳥 清人 先生

2022年7月開催

審美インプラント治療及び欠損補綴部へのインプラント治療を確実に行うために

講師: 白鳥 清人 先生

OT12 GBRにおけるブロック骨移植等の様々な骨切りに使用します。インサートチップの先端だけでなくU字型部の前後にも刃があるので、正確で効率の良い骨切りが行えます。

OT12S 刃の厚みが0.25mmと非常に薄いため、ピエゾサージェリーに不慣れなうちは、同じ形状で刃の厚みが少し厚い(0.35mm) **OT12** (上記)の使用をお勧めします。

OT5A サイナスリフトのクレスタルアプローチにおいて、サイナスメンブレン近傍までドリリングした後、上顎洞との開通のため、残っている骨を削除するのに使用します。同じラウンドタイプの**OT5**($\varnothing 1.7\text{mm}$)より、**OT5A**の直径が少し大きい(1.9mm)、切削効率重視で**OT5A**を使用しています。



林 丈一朗 教授

2023年12月開催

ペリオ・インプラントの低侵襲ソフトティッシュマネジメント

講師: 林 丈一朗 教授

OP1 狭小な歯槽提において、インプラントを埋入しやすくするため、骨頂部を平らに整形するのに使用します。これによりインプラントネック部を全周に渡って骨内に埋入することができます。ただし、埋入時に深くなりすぎないように、**OP1**での削除量には注意が必要です。

IM1-SP インプラント埋入の起始点形成に使用します。ドリルと異なりブレたり、周囲骨をはじくことも無く、起始点を正確に位置づけることができます。

OT7S-3 精細な骨切除に使用するインサートチップですが、フラップレスの歯冠長延長術に使用しています。施術部を#15cメスで骨に達するところまで歯肉溝切開し、プローブで骨頂の位置を把握します。切開した歯肉溝から**OT7S-3**を挿入し、スキャロップ形態を意識して移行的に必要な深さまで骨を切除します。その後、ハンドスケーラーで骨形態を上げるとともに、セメント質と結合組織性の付着を除去します。

EX1 特に歯槽提保存術における抜歯時に歯根膜繊維の切除に使用します。歯槽提を損傷させないように、まずは舌側/口蓋側を切除し、必要に応じて唇側/頬側も切除します。



木村 智恵 先生



石橋 真乃介 先生

2023年9月開催

インプラント専門医・口腔外科エキスパートから学ぶ 臨床医のための実践抜歯テクニック

～豚下顎骨での抜歯実習で、親知らずと残根抜歯に強くなろう～

講師: 木村 智恵 先生 / 石橋 真乃介 先生

EX1 抜歯の際の歯周靭帯の切除と、ヘーベルを挿入するための座を形成するのに使用します。骨の薄い部分を避け、主に歯牙の近遠心、舌側に挿入して使用します。

OT7 骨切り用のインサートチップですが、歯牙の象牙質は切削可能ですので、埋伏歯・残根の抜歯の際等、歯牙を分割する際に使用します。回転切削器具よりもアクセス性に優れ、口腔内でより安全に施術を行うことが可能です。



(株)インプラントテックスのセミナーでは、お一人に1台のピエゾサージェリー®をご用意しています。主に※生体である豚顎骨実習を通して、臨床に役立つ様々なインサートチップをお試しいただけます。 ※模型実習の場合もございます。